



SHIMIZU

—清学図書通信—

清水学習センター図書室広報

2019年

第24号



小説の本棚 ～おすすめ本をそろえました～



『海とジイ』 藤岡 陽子／著 小学館 (Fフジオ)

瀬戸内の小さな島を舞台に繰り広げられる、海とじいさん＝ジイの生き様を描いた連作短編集。最期を見据えた三人のジイの生き抜く姿に生きるとは何かを考えさせられ、三人のジイの言葉に思わず涙してしまいそうに…。

「人生は短い。今日一日を限界まで生きろ」そんなまっすぐなジイの言葉が、強く心に刺さり、生きる希望をくれる一冊。

『燃えよ、あんず』 藤谷 治／著 小学館 (Fフジタ)

ぽんこつな店主が営む下北沢の書店『フィクションズ』に集う個性的な常連たち。その中に、店に似合わない若くて可愛らしい女性、久美ちゃんがいた。家族に起きた突然の不幸を機に店に姿を見せなくなっていたが、偶然出会ったフィクションズの客仲間に連れられて、十数年ぶりに来店した久美ちゃん。心機一転、新しい人生を歩み始めようとしていた彼女だったが、店主と同様にぽんこつな常連たちの善意と悪意と好奇心によって、大波乱の道を進むことになるのであった。



『鬼嵐』 仙川 環／著 小学館 (Fセンカ)

東京の病院を辞め、地元である姫野町に戻ってきた女医の夏未。父の経営している小さな病院を手伝い始めた矢先、常連の患者が変死する。現場に居合わせた夏未は遺体の様子に不審を抱き、一人調査を進めると「鬼嵐」という風土病の存在が見えてくる。夏未は感染源を突き止め、事態は無事に収束するかわれられたが…。そして突如発生した「鬼嵐」の真相とは。

事態が二転三転する医療ミステリー。

ことことこーこ 阿川 佐和子／著 KADOKAWA (Fアガワ)	アンダーカバー 秘録・公安調査庁 麻生 幾／著 幻冬舎 (Fアソウ)
じっと手を見る 窪 美澄／著 幻冬舎 (Fクボミ)	異世界居酒屋「のぶ」 6杯目 蟬川 夏哉／著 転／画 宝島社 (Fセミカ6)
水辺のブッダ ドリアン助川／著 小学館 (Fドリア)	想い人 諸田 玲子／著 文藝春秋 (Fモロタ)
今、死ぬ夢を見ましたか 辻堂 ゆめ／著 宝島社 (PFツジド)	心霊電流 上・下 スティーヴン キング／著 文藝春秋 (933キング1・2)



ゴリラMEETSゴリラ



みなさんはゴリラが好きですか？また、ゴリラに対してどんなイメージを持っていますか？きっと一度は動物園で見たことがあるのではないかと思います。一時期、ハンサムな顔のゴリラが話題になり、写真集まで出版されるほど人気となりました。

そんな動物園の人気者のゴリラは、実際はどんな生き物なのでしょう。優しいイメージを持つ人もいれば、映画に出てくるような強くて凶暴なイメージを持つ人もいます。今回、ゴリラに惚れ込んだ著者による魅力あふれるゴリラ本を紹介します。



『ゴリラの森、言葉の海』

山極 寿一／著 小川 洋子／著
新潮社 (489ヤマギ)

ゴリラ研究の第一人者と小説家がタッグを組み、ゴリラと人間の生態を比較しながら、対談形式で語り尽くした一冊です。その賢い知性と驚くべき生態を知り、ゴリラと向き合うことで、私たち人間が奇妙で不自然な生き物であることに気づかされます。



『ゴリラを訪ねて三千里』

Gorilla my love』

阿部 知暁／著 理論社(489アベチ)

日本中のゴリラとの対面を目標に、たくさんの動物園を巡った著者が描いた、個性豊かなゴリラたち。緻密なタッチで描かれた彼らの生き生きとした表情から、ゴリラに対する深い愛情が伝わってきます。著者が出会った日本中、そして世界のゴリラたちを、銅版画と共に紹介しています。



『ゴリラ図鑑』

山極 寿一／写真・文 田中 豊美／画
文溪堂 (B48ヤマギ)

ゴリラとあいさつができる著者が、思いやりがあり、家族や仲間への愛があふれた、心優しいゴリラの姿を150点以上の写真とイラストで紹介しています。他にも、ゴリラの仲間のオランウータン、チンパンジー、ボンボも登場。表情豊かなゴリラの姿に癒され、ゴリラに会いたくなる一冊です。



★その他のおすすめゴリラ関連本★

『シャバーニ！』

東山動植物園オフィシャルゴリラ写真集
東山動植物園／監修 扶桑社(489シヤバ)

『世界からバナナがなくなるまえに』

食糧危機に立ち向かう科学者たち
ロブ・ダン／著 高橋 洋／訳
青土社(615ダンロ)

《新着図書》

『イスラムが効く!』

内藤 正典／著 中田 考／著 ミシマ社(167ナイト)

『女性のための「検査」がわかる本』

小橋 隆一郎／著 主婦の友社(492コバシ)

『ヒトは7年で脱皮する 近未来を予測する脳科学』

黒川 伊保子／著 朝日新聞出版(361クロカ)

『やさしいバナナのお菓子 朝食、おやつ、デザートに。』

はじめてでも失敗しないかんたんレシピ』

若山 曜子／著 誠文堂新光社(596ワカヤ)

Y



A

☆ヤング・アダルト☆

～おすすめの新しい小説～



『南西の風やや強く』

吉野 万理子／著 あすなる書房（Ｙ９１３ヨシノ）

親に言われるがまま、望んでもいない難関中学を受験することになった小学六年生の伊吹。勉強漬けの日々に疲れたある夜、ふらりと散歩にでかけたところ、クラスメイトの石島に会う。性格も正反対で教室では話したこともない石島だったが、夜の散歩を通じて、思いがけず彼の家庭の事情を知る。この出来事が伊吹を大きく変えるきっかけとなっていく…。

『つくられた心』

佐藤 まどか／作 浦田 健二／絵 ポプラ社（Ｙ９１３サトウ）

舞台はスーパーセキュリティシステムが整備され、大量のポリスロイドとよばれるロボットが警備にあたる近未来都市。そこに新しくつくられた「理想教育モデル校」が開校した。防犯カメラ、防犯用集音マイクが完備され、さらに『つくられた心』をもった〈見守り係〉の最新型アンドロイド「ガードロイド」がクラスメイトとして紛れ込む。小学六年生のミカは、真新しい学校に心躍らせ、すぐに友達もできるが、やがてクラス内で「ガードロイド探し」が始まる。いったい誰がガードロイドなのか。クラスメイトを疑い、クラスメイトに疑われ、ホンモノの心とつくられた心の違いに戸惑う子どもたちの物語。



★新しい雑誌★

『 Forbes JAPAN 』

日本一美しい経済誌をテーマに、国内外の第一線で活躍する人々へのインタビューや、新たなアイディア、テクノロジーなどを紹介するビジネスマガジン。

（毎月25日頃発売）

1冊ずつならサクッと読めて、深い世界にどっぷり浸れる！



文庫本シリーズのご紹介



異国情緒漂う世界へ…アジアファンタジー。

『宮廷神官物語 ①～⑦』

榎田 コウリ／著 KADOKAWA (PFエダコ)

『金靴国春秋シリーズ ①～⑦』

篠原 悠希／著 KADOKAWA (PFシノハ)



痛快！爽快！時代劇。

『付添い屋・六平太 ①～⑫』

金子 成人／著 小学館 (PFカネコ)

『剣客旗本春秋譚 ①～③』

鳥羽 亮／著 実業之日本社 (PFトバリ)

美味しいほっこり系ミステリーがお好きなら…。

『スープ屋しずくの謎解き朝ごはん ①～④』

友井 羊／著 宝島社 (PFトモイ)

『最後の晩ごはん ①～⑫』

榎野 道流／著 KADOKAWA (PFフシノ)



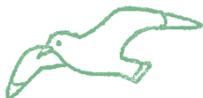
人ならざる者たちと、不思議な世界。

『あやし屋台なごみ亭 ①～④ (完結)』

篠宮 あすか／著 双葉社 (PFシノミ)

『ばけもの好む中將 ①～⑧』

瀬川 貴次／著 集英社 (PFセガワ)



おはなし会のご案内

清水学習センター図書室では、毎月おはなし会を開いています。ぜひ、ご参加ください。

★ おひざにだっこのおはなしかい ★

日時：毎月第3木曜日 午前10時半から11時

対象：3才までの乳幼児とその保護者

内容：てあそび・わらべうた・絵本・紙芝居 など

★ おはなしポケット ★

日時：毎月第3土曜日 午後2時から2時40分

対象：4才から小学生

内容：絵本・紙芝居・工作
ブックトーク など



図書室からのお知らせ

図書室の本が破けてしまった時は、セロハンテープ等で修理せず、職員にお知らせください。

図書室で修理いたします。(セロハンテープ等で補修すると劣化の原因になります。)

清水学習センター図書室広報

『SHIMIZU—清学図書通信—』

第24号 2019年9月発行

● 編集 清水学習センター図書室
〒960-8252

福島市御山字松川原5-1

TEL 024-557-7400

● 発行 福島市立図書館

〒960-8018

福島市松木町1-1

TEL 024-531-6551



ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/index.html>

携帯ホームページ

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/index.html>